

せきをゆずったよ

小 三

わたしは、一年生の夏休みのとき、ちぶのおばあちゃんとかまがやへ行きました。はぐれ駅から電車に乗りました。だんだんこんできて、ひろせ野鳥の森駅で人がたくさん乗ってきました。そして、わたしの前に重そうなりユックをせおった人が来てつりかわにつかまっていた。その人は、にんぷさんでした。そのとき、おばあちゃんは足とこしがいたかったからせきをゆずれませんでした。わたしが、

「どうぞ。」

と言ってせきをゆずろうとしたけれど、

「だいじょうぶだよ。」

と言われました。その人のバッグに「赤ちゃんがいいますよマーク」がついていたので、

「おなかに赤ちゃんがいるんですよ。」

と聞きました。そうしたら、

「いいの？　ありがとう。じゃあ、お言葉にあまえて。」

と言ってすわってくれました。そして、

「やさしくしてくれてありがとう。赤ちゃんもうれしそう。」

とわたしにお礼を言ってくれました。そして、あめまでくれました。わたしは、

「せきをゆずってよかった。よろこんでもらえてよかった。」と思いました。

その後も、「何でこんなにうれしいのだろう。」と考えました。おばあちゃんに聞いてみると、

「たぶんさっきの人にやさしくせきを

ゆずったからよ。」

と言ってくれました。

これからも、いろいろな人やいろいろな友だちにやさしくしたいです。